

2024スタディガイド正誤表 P9, P18

Rev.12 20250216

ページNO	例題番号	誤記	修正	修正内容
P9,P18 航空通信				注意: AIM-Jの参照先は最新版2025.January.1～June.31に対応しています。
4-2	411421	-	-	リモート、RAGが廃止されたので過去問から次回削除予定
4-3	411424	-	-	FSC、リモートが廃止されたので過去問から次回削除予定
4-4	411427	(1)東京 解説: AIP 3.4	(1)東京 削除 解説: AIP GEN 3.4	現在は、新千歳、大阪、福岡、鹿児島及び那覇 AIP GEN 3.3-13 ATTACHMENT-1 (AIM-J 242.) ひとつ前のAIM-J 242.には東京が入っていますので注意してください。最新版のAIM-Jをご使用ください。
4-6	412332	解答(3)	解答(2)	航空機用救命無線機(ELT)又は非常用位置指示無線標識(EPIRB)からは遭難している航空機の呼び出し符号は認識できませんので解答は(2)になります。
4-11	414221	例題の解答 に(5)がない	例題の解答 に(5)なしを追加	(1)1 (2)2 (3)3 (4)4 (5)なし となります。
4-12	414234	問題文:(3)文字抜け	問題文(3)に右の赤字部分追加	(緯度経度・・・南緯「S」) の記号及び緯度を示す5桁の数字の後、 東経「E」又は西経「W」 (の記号を記入する。)
4-12	414323	解説: IFRで飛行する場合・・・I (a)は誤り	IFRで出発し、途中で飛行方式を変更する場合・・・Y、Zがある	解説の訂正: (a)は○×?、(b)(d)は正解、(c)×(UTCのみ) 24/8のサンプル問題の例題8を取り入れ、今回は本問を削除予定です。
4-13	414328	問題文:(3)最大離陸重量 解答:(3)	問題文:(3)最大着陸重量 解答:(4)が正解	過去問と再度比較しましたところ問題文の間違いがわかりました。離陸を着陸に訂正してこれが間違いとなるため解答は(4)です。又後方乱気流区分が更新されていますのでAIM-J 304. P3-2 表3-1 (AIP ENR 1.10-4後方乱気流区分)を参照してください。
4-14	415232	-	-	FSC、リモートが廃止されたので過去問から次回削除予定
4-15	415236	解説:FSCは廃止	解説は右を参照してください。	FSCが廃止されたので、AIM-J 243. AIP GEN 3.3 を参照してください。
4-15	415237	解説: リモートは廃止	リモート削除	解説のリモートを削除し問題は継続掲載予定。
4-16	415250	解説:②皆実アメリカ	解説:②南アメリカ	誤字訂正
4-17	421201	-	-	解説: AIM-J 316. AIP ENR 1.9 航空交通流管理、第5管制業務処理規程 page II-9【出発制御(EDCT発出)クリアランスの確認または変更の要求は、上記(1)(2)(3)の場合に行う。ATMセンターは、航空機の飛行計画を原則としてEOBTの25分前までに承認するか、それができない場合はEDCTを伝達しなければならないため、(4)の状況は想定されない。
4-20	422724	-	-	リモート、RAGが廃止されたので過去問から次回削除予定
4-20	422727	(3)生ずる	(3)生ずる	誤字訂正
4-21	424737	「DIS REGARD」	「DISREGARD」	スペル修正 航空保安業務処理規程 第5管制業務処理規程 III 管制方式基準 ページ(I)-5-11
4-22	422744	解説:(4)の中の(5)削除	不要文字削除	誤字訂正
4-23	423211	解説:訂正	解説:右に修正	AIM-J 349. すべて含まれる。解説は次の例題423212と同じ。

2024スタディガイド正誤表 P9, P18

Rev.12 20250216

4-24	423212	解説:事由に	解説:自由に	誤字訂正
4-26	423616	閃交光 解説:削除	交互閃光	閃交光→交互閃光に修正 解説は飛行中の航空機と地上の航空機の説明が混在していてわかりにくいので、AIM-J 358. 表 3-7 を参照してください。
4-27	423722	-	-	滑走路状態コードとブレーキングアクションの表が改定されていますので、AIM-J 374. P3-22 表の3-8と表3-9を参照してください。
4-27	424141	解説: ii 変	解説: ii 変更	誤字訂正
4-29	424521	参照(a)着陸後は	参照(a)離陸後は	着陸→離陸に訂正
4-30	424610	問題文:(d) めげあり 解説:(d)離脱高度を	問題文:(d)右の赤字部分追加 解説:(d)高度離脱を	(ホールディング・・・始めて良い。) また、離脱高度を通報する必要はない。 解説:維持していた高度からこれから離れるということを通報する。
4-30	424770	解説:AIP ENR 2.1.2	解説:AIP ENR 2.2.1.2	AIM-J 671.にもあり
4-31	425103	例題の解答 に(5)がない	例題の解答 に(5)なしを追加	(1)1 (2)2 (3)3 (4)4 (5)なし となります。
4-31	425103	(c) MINIMUM CLEAN SPEED	(c) MINIMUM APPROACH SPEED	誤字訂正
4-32	425133	解説:AIP age3. 1.3.	解説:AIP GEN 3.1.3	誤字訂正
4-33	425221	例題:正しいものはどれか	例題:誤りはどれか	正しい→誤り に訂正
4-32	425137	解説:	解説:右部分に訂正	(4)が間違い。AIM-J 391. と AIP GEN 3.1.6 業務の終了に(4)の記載なし。 航空保安業務処理規程 管制方式基準(IV)-14-2 には(4)の記載があります。
4-34	425840	例題の解答 (5)5	例題の解答 (5)なしに訂正	(1)1 (2)2 (3)3 (4)4 (5)なし となります。
4-35	426110	-	-	SUPERが追加され問題が成立しないため、次回削除予定。 後方乱気流区分が改定されています。AIM-J P3-2を参照してください
4-36	427120	問題 誤りはは	問題 誤りは	誤字訂正

2024スタディガイド正誤表 P40

Rev.11 20250209

ページNO	例題番号	誤記	修正	修正内容
P40 計器飛行証明				
7-3	728213	(2)SHRA しゅう雨蛙の雨	(2)SHRA しゅう雨性の雨	問題文(2)誤字修正
7-4	732611	解説: AIP AD12-1	解説: AIP AD1.2 2.1	参照ページ修正
7-5	734222	(1)レーダー	(1)レーダー	問題文タイプミス修正
7-5	734224	解答(d)VOP	解答(d)VDP	解答(d)VOP → VDP
7-7	734261	決定条件にについて	決定条件について	問題1行目「に」がダブル
7-8	734424	解答(4)SSP体制	SSP体制 無くなった	SSP体制が廃止され、LVP/LVPDになった。次回問題削除。
7-8	734425	AIM-J 640	AIM-J 642. b.	参照先修正
7-10	735312	解説【ATSルート】	解説【ATSルート】 不要	誤解が生じやすい【ATSルート】削除
7-11	735321	解説: 航法(飛行するヘディングの決定)はパイロットが行うのではなく	解説: 航法はラテラル・ナビゲーション・モードを使用する。ヘディング・モードと混同しやすいのでヘディングは削除。AIM 549.全部読めばヘディングの意味は理解できるが。	サーキュラー No.5-017 RNAV 航行の許可基準及び審査要領(国空安政第3003号) RNAVによる飛行は、基本的にパイロットが行うのではなく、フライト・ディレクターの表示に従うか、オートパイロットのラテラル・ナビゲーション・モードによって行う。
7-13	741212	出題年月23/5にはない 解答(2)	出題年月24/5にあり 解説(2)EDCT が指定されるのはタワー空港だけではない。EDCT 有効時間帯(EDCT Valid Window)が適用される空港はAIP で公示されている。 解答(3)	解答は(2)になっているが、解説では(3)に○がついている。正解は(3)。AIM-J 316 c) 問題文はEDCTについて、解説はEDCT 有効時間帯(valid window)について、となっており誤解を生じやすい。AIP ENR1.9-2 3.3.2 (1) はすべてタワー空港でEDCT valid window が適用される。リストにないタワー空港、及びノンタワー空港には valid window は適用されない。
7-13	741712	解説 レーダー	レーダー	問題文タイプミス修正
7-14	742323	問題に飛行の方式及び「飛行の種類」のうち飛行方式の記入要領について出されている	種類についての解説を追加。	種類については問題の中に含まれていない。種類はS(定期便)、N(定期便以外の航空運送事業)、G(使用事業、訓練、訓練等)、M(Military)、Xその他
7-16	744444	(1)1 (2)2 (3)3 (4)4 (5)5 とされており間違い	(1)1 (2)2 (3)3 (4)4 (5)なし としなければならない	(1)1 (2)2 (3)3 (4)4 (5)なしに訂正
7-17	744712	問題(1)SSP体制	SSP体制 無くなった	SSP体制が廃止され、LVP/LVPDになった。次回問題削除予定。
7-18	744713	解答(3)	解答(2)	(a)(b)(c)は間違い、(d)(e)は正しい 23/9の出題はなし → 削除
7-18	744714	(b)のみが正しい	(c)が正しい	解答(1)は正しいのでそのまま、解説文のみ修正

2024スタディガイド正誤表 P40

Rev.11 20250209

7-19	744715	(b)○ 解答が(5)5 解説:(c) OCHが1,700 ftである。	解答は(1) (a)× (b)× (c)○ (d)× 解答(5)なしに訂正 解説:(c) OCHが1,670 ftである。	問題文(c)が正解 解説:: (c) OCHは1700 ft→1670 ftに訂正
7-20	744717	解答(4) (VORを使用する非精密進入方式)	解答(1) (ILSを使用する進入方式)	(あ)のみ正しく、解答は(1)になる →(ILSを使用する進入方式)に訂正
7-24	746756	解答(4)	解答(1)	問題文(1)旋回の開始点を旋回の終了点に修正
7-27	747613	(1)レーダー	(1)レーダー	問題文タイプミス修正 解説も3か所誤記あり
7-29	755122	解説文 AIM-J 154	解説AIM-J 152	(4)の説明文は進入灯の説明文ではない。 以下の説明文削除
7-29	756241	(b)マクグネティックコンパス	(b)マグネティックコンパス	誤字修正
7-29	756241	1*	*3か所削除	*説明がないため削除。AIM-J コピペのまま
7-29	756411	航空法施行規則 158 条	航空法施行規則 161 条	158→161に訂正
7-31	756721	解説(D)AIM-J 10471	解説(D)AIM-J 1047	10471 → 1047 に訂正
7-32	756752	(1)レーダー	(1)レーダー	問題文タイプミス修正 2か所
7-33	756753	問題文(1)有視界気象状態...が2回出てくるダブリ	問題文(1)ダブリ部分削除	ダブリ修正
7-33	759300	ディング	ヘディング	問題文 ミスタイプ